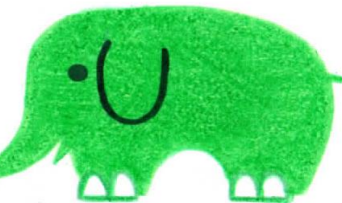


ぱおぱお ニュース



< 病気の豆知識 >

今月は…『子どもの歯について』です

6月4日は虫歯予防Day!

虫歯は食生活の乱れでなることはよく言われているとおり、子供の虫歯を予防する第一歩は、規則正しい食生活と間食(おやつ)の種類・時間に注意することです。

子供の歯は大人の歯に比べて有機質をたくさん含んでいて、虫歯に対して抵抗性がかなり低くなります。そのため、乳歯の虫歯の進行は、大人に比べると早くなりやすいのです。しかも、大人の歯と比べると歯全体で神経の占める割合が高くなります。そのため、穴を見つけた場合は、かなり虫歯が進行しており、神経の近くまで進行していることが多いです。そうになると治療してもなかなか治りにくいです。

子供の歯が虫歯になるとどんどん歯が溶けて小さくなり、それに合わせた歯並びになります。そうすると、すでに顎の骨の中に控えている大人の歯が出るスペースがなくなり出てこられなくなったり、変な場所に出てきたりと歯並びに影響が出ます。

歯並びが悪いと大人の歯の虫歯リスクや歯周病のリスクを高めることになります。この2つのリスクが高くなるということは、歯を失うことにつながります。



子ども診療所では月二回、第二月曜日と第四月曜日の午後に
歯科衛生士さんに歯科相談できる機会を設けております。是非ご利用ください。

★歯科相談

親御さんの心配は尽きないものです。

そこで、今回は歯科相談の中で質問が多かったものから、ひとつご紹介します。

Q 歯みがきはいつからどうやって始めたらいいの？

A 下の前歯が生え始めたら赤ちゃんの機嫌がいい時に、指に清潔なガーゼなどを巻いて歯を拭ってあげましょう。まだまだ歯磨きに慣れるための練習期間なので、優しく楽しみながらやりましょう。



相互歯科では小児歯科専門のスタッフが対応しています。

赤ちゃんから高校生まで(大人になっても小児外来で来院している方もいます)

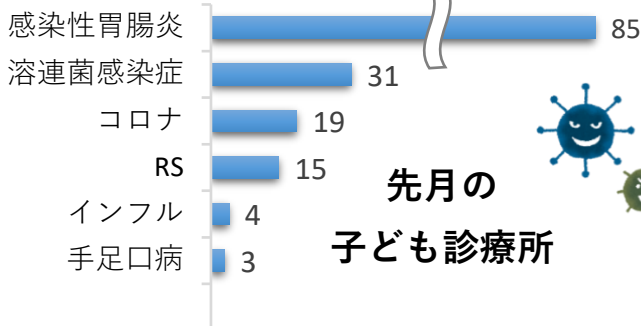
歯医者が苦手なお子さんもしっかり治療できるようにサポートしていきます!

虫歯がなくても定期的に受診して歯医者に慣れるようにしましょう。

相互歯科 歯科衛生士



< 感染症情報 >



子ども診療所では…

- ・インフルエンザは一気に減少、溶連菌増加
- ・RSの流行の兆しあり。

病児保育室ぱおぱおでは…

- ・新しい環境での生活が始まり体調を崩してしまってお子様が多く入室していました。
- ・熱、咳、鼻水症状が続き、中には長引いてしまってお子様もいました。



< 食中毒に気をつけよう >

食中毒の原因となる細菌やウイルスは、目に見えませんが私たちのまわりの至る所に存在しています。湿度が高くジメジメしたこの時期は、細菌にとっては最適な環境となります。食中毒の予防原則を守り、気をつけていきましょう！

< 細菌による食中毒予防3原則 >

- ①細菌を食べ物に「**つけない**」
- ②食べ物に付着して細菌を「**増やさない**」
- ③食べ物や調理器具に付着した細菌を「**やっつける**」

< ウイルス性食中毒予防の4原則 >

- ①ウイルスを調理場に「**持ち込まない**」
- ②食べ物や調理器具にウイルスを「**ひろげない**」
- ③食べ物にウイルスを「**つけない**」
- ④付着してしまったウイルスを加熱して「**やっつける**」



ウイルスの場合は、食品中では増えないので、「増やさない」は当てはまりません。ウイルスは、ごくわずかな汚染によって食中毒を起こしてしまいます。

< そのストローマグ、大丈夫！？ >

赤ちゃんはストローで飲む時に、口の中の食べかすや唾液が逆流して、出たり入ったりしています。そのため、汚れが付きやすく、カビも生えやすくなります。食中毒菌の多くは、20℃～40℃が適温、特に30℃～35℃で活発になるといわれています。雑菌を増やしにくくするには、飲み物をいつも20℃以下に保っておくことが大切です。暑い時期に保冷機能が無いベビーマグを常温で置いておくと、あっという間に雑菌が増えやすい温度になっていることも！食中毒も気になりますが、6月はまだ暑さになれていないので、脱水症状を起こしやすく、熱中症予防にもご注意ください。



<スマイルコーナー> 病児保育室での心温まるエピソードなどをご紹介します。

『 無言のやり取り 』

先日入室した1.2歳の女の子。この日はお熱も下がり比較的調子の良い日でした。ご機嫌に遊んでいましたが、そーっとどこかに行こうとしている姿を発見！保育士もそーっと見守っているとテーブルの下へ。テーブルの下を笑顔で楽しんでいましたが保育士と目が合うとビックリ！すぐに出てきて「私、何もしてないよ！」と言わんばかりにもものすごい勢いで首を振っていました！一言もやり取りはありませんが声が聞こえてくるようでしばらく笑ってしまった保育士でした！テーブルの下は落ち着くようです。

保育室のご利用には 事前の登録が必要です！



何かお困りの際にご相談ください。

お問い合わせ 病児保育室ぱおぱお (月～金 8:30～17:30)

TEL 042-521-2777 * 育児相談も受け付けています *